

令和5年度 「学校生活に関するアンケート」 結果の報告と今後の取組について

7月に保護者、児童、教職員の三者を対象に「学校生活に関するアンケート」を実施しました。それぞれの項目の達成率や自由記述について報告いたしますとともに、今後の取り組みについて説明させていただきます。

令和5年度 学校アンケート結果（前期）

$$\text{達成率} \cdots (A + B) / (A + B + C + D) \times 100$$

評価・・・ A そう思う B ややそう思う C あまりそう思わない D そう思わない ? 分からない

			A	B	C	D	?	達成率	判定		
学習活動	1	保護者	先生は、教え方を工夫し、分かりやすい授業を展開している。	人	36	40	6	1	16	91.6	A
			%	36.4	40.4	6.1	1.0	16.2			
		児童	先生（せんせい）は、教（おしえ）え方を工夫（くふう）し、分（わか）りやすい授業をしている。	人	151	23	3	0	2	98.3	A
	%		84.4	12.8	1.7	0.0	1.1				
	教職員	教え方を工夫し、分かりやすい授業を展開している。	人	3	10	0	0	1	100.0	A	
			%	21.4	71.4	0.0	0.0	7.1			
		分析・改善	保護者、児童、教職員ともに、達成率が90%を超えている。特に、児童は98%以上が「分かりやすい授業をしている」と評価をしている。これは、ICTの活用や学習形態の工夫など、日々の努力が高い達成率につながったと考えられる。 【今後の取組】 ① 教職員の指導改善に向けた取組（研究授業や校内研修）を充実させる。 ② 授業の様子をホームページや各種通信等で積極的に情報発信する。								
	2	保護者	お子さんは、家庭学習をきちんと行っている。	人	34	44	16	4	1	79.6	C
				%	34.3	44.4	16.2	4.0	1.0		
		児童	わたしは、家（いえ）できちんと宿題（しゅくだい）をしている。	人	145	22	8	2	2	94.4	A
	%			81.0	12.3	4.5	1.1	1			
	教職員	学校は、家庭と協力して、家庭学習の充実を図っている。	人	4	8	1	0	1	92.3	A	
%			28.6	57.1	7.1	0.0	7.1				
	分析・改善	児童及び教職員はの達成率は90%を超えているが保護者は79%と、低い評価結果となっている。このことは、基本的な生活習慣の確立にもつながるが、まずは「宿題をして遊ぶ」という学習習慣を定着させる必要があると考えられる。 【今後の取組】 ① 教職員による研修等で家庭学習の時間と宿題の量等について共通理解を図る。 ② 「学習の手引き」をもとに、児童に対して家庭学習の進め方について具体的な指導を行う。									
3	保護者	お子さんは、読書を積極的に行っている。	人	24	25	33	17	0	49.5	C	
			%	24.2	25.3	33.3	17.2	0.0			
	児童	わたしは、進（すす）んで読書（どくしょ）をしている。	人	93	56	19	8	3	84.7	B	
%			52.0	31.3	10.6	4.5	2				
教職員	学校は、読書活動を充実させる取組を行っている。	人	10	4	0	0	0	100.0	A		
		%	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0				
	分析・改善	教職員の評価が100%であるのに対して、保護者の評価が49%と極めて低い。このことは、学校での読書の様子が保護者には伝わっていないことや、家庭において子供が読書を楽しみながら行っていないことがこの結果につながったと考えられる。 【今後の取組】 ① 月1回「読書の日」を設定する。 ② 新刊図書の紹介と多読者の紹介を図書委員会と放送委員会が協力して行う。 ③ 「うちどくの日」（第3日曜日）を月行事予定で紹介するとともに、「うちどくノート」を全校児童に配付し、親子読書の啓発を図る。									

4	保護者	お子さんは、楽しい学校生活を送っている。	人	51	40	5	2	1	92.9	A
			%	51.5	40.4	5.1	2.0	1.0		
	児童	学校(がっこう)の生活(せいかつ)は、楽(たの)しい。	人	138	27	9	2	3	93.8	A
			%	77.1	15.1	5.0	1.1	2		
教職員	子供たちは、楽しく学校生活を送っている。	人	8	6	0	0	0	100.0	A	
		%	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0			
	分析・改善	<p>保護者、児童、教職員ともに90%以上の肯定率が得られているが、楽しいと思えていない児童がいることも見落としはならないと考える。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>① 継続的な集会活動・学校行事の充実を図る。</p> <p>② 賞状伝達の際には、活躍した児童が感想や思いを全校児童に伝え、頑張りが認められ、自信を持つことができる場の設定する。</p> <p>③ 授業の様子をホームページや各種通信等で積極的に情報発信する。</p>								
5	保護者	お子さんは、元気なあいさつや時と場に応じた言葉遣いができている。	人	15	59	21	3	1	75.5	C
			%	15.2	59.6	21.2	3.0	1.0		
	児童	わたしは、元気(げんき)なあいさつや正(ただ)しい言葉(ことば)づかいができている。	人	111	46	15	2	5	90.2	A
			%	62.0	25.7	8.4	1.1	3		
教職員	子供たちは、元気なあいさつや時と場に応じた言葉遣いができている。	人	1	10	2	1	0	78.6	C	
		%	7.1	71.4	14.3	7.1	0.0			
	分析・改善	<p>児童の達成率は90%を超えているが、保護者、教職員の達成率は、70%台と低くなっている。朝の「おはようございます」だけでなく、状況に応じたあいさつと友達や教職員だけでなく、地域の方々などにもあいさつができるように取り組む必要があると考える。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>① 集会・生活委員会が実施している「あいさつ運動」の結果を数値化し、掲示することで児童のあいさつへの意欲化を図る。</p> <p>② 5のつく日(5日、15日、25日)を「新谷ことば」の日と定め、「新谷ことば」の意識化</p>								
6	保護者	学校は、子供の話や相談にきちんと対応している。	人	30	45	13	2	9	83.3	B
			%	30.3	45.5	13.1	2.0	9.1		
	児童	困(こま)ったとき、先生(せんせい)は相談(そうだん)にのってくれる。	人	140	21	7	2	9	94.7	A
			%	78.2	11.7	3.9	1.1	5		
教職員	学校は、子供や保護者の悩みに対して、きちんと相談にのっている。	人	8	5	1	0	0	92.9	A	
		%	57.1	35.7	7.1	0.0	0.0			
	分析・改善	<p>児童、教職員の達成率は90%を超えており高い状況であるが、保護者の評価については、やや低い状況である。日々の日記指導や日常会話を大切にしながら、子供の頑張りを認めることでしっかりと信頼関係を築いていく必要があると考えられる。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>① 教職員による教育相談研修を充実させ、教育相談のスキル向上を目指す。</p> <p>② 教育相談週間を設定し、学校全体で教育相談に取り組む。</p>								
7	保護者	学校は、いじめを許さない教育に取り組んでいる。	人	38	39	9	3	10	86.5	B
			%	38.4	39.4	9.1	3.0	10.1		
	児童	どんな理由(りゆう)があっても、いじめはいけないことだと分(わ)かって生活(せいかつ)している。	人	160	9	6	2	2	95.5	A
			%	89.4	5.0	3.4	1.1	1		
教職員	学校は、いじめの早期発見に努め、早期解決・再発防止に取り組んでいる。	人	11	2	1	0	0	92.9	A	
		%	78.6	14.3	7.1	0.0	0.0			
	分析・改善	<p>児童、教職員の達成率は90%を超えており高い状況であるが、保護者の評価については、やや低い状況であり、今後いじめを許さない集団づくりについて家庭と連携しながら取り組んでいく必要があると考える。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>① 全校集会や学級指導、道徳科の学習の時間において継続的な指導を行う。</p> <p>② いじめアンケート等による教職員間での適切な情報共有を行う。</p> <p>③ 学級通信等による保護者への啓発活動を行う。</p>								

健康・安全	8	保護者	お子さんは、学校のきまりや交通ルールを守って生活している。	人	33	57	5	0	4	94.7	A
		%	33.3	57.6	5.1	0.0	4.0				
		児童	わたしは、学校(がっこう)のきまりや交通(こうつう)ルールを守(まも)って生活(せいかつ)している。	人	155	19	2	1	2	98.3	A
		%	86.6	10.6	1.1	0.6	1				
教職員	子供たちは、学校のきまりや交通ルールを守って生活している。	人	0	10	4	0	0	71.4	C		
%	0.0	71.4	28.6	0.0	0.0						
分析・改善	<p>保護者・児童ともに達成率が90%を超え、高い状況であるが、教職員は71%と低くなっており、教職員間で共通理解を図りながら指導を行っていく必要があると考えられる。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>① 教職員による「校外生活のきまりとめあて」の定期的な確認と見直しを行う。</p> <p>② きまりやルールの大切さについて全校集会で注意喚起をしたり、地区子ども会で申し合わせ事項の確認を行ったりする。</p>										
健康・安全	9	保護者	お子さんは、「早ね・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣が身に付いている。	人	29	54	12	4	0	83.8	B
		%	29.3	54.5	12.1	4.0	0.0				
		児童	わたしは、「早(はや)ね・早起(はやお)き・朝(あさ)ごはん」ができています。	人	104	52	18	4	1	87.6	B
		%	58.1	29.1	10.1	2.2	1				
教職員	子供たちは、基本的な生活習慣が身に付いている。	人	1	9	4	0	0	71.4	C		
%	7.1	64.3	28.6	0.0	0.0						
分析・改善	<p>保護者、児童の達成率は80%台であり、教職員の達成率も70%台と低い。教職員に関しては、「基本的な生活習慣」をどのようにとらえているか話し合い、共通理解を図りながら、指導の改善に努める必要があると考えられる。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>① 教職員による「基本的な生活習慣」についての共通理解を行う。</p> <p>② 保健だより等を通じて「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを児童や保護者へ積極的に情報発信する。</p> <p>③ 生活リズムチェックの継続的な実施を行い、調査結果を家庭と情報共有しながら連携を深め</p>										
家庭・地域連携	10	保護者	学校は、家庭や地域と連携して体験学習などの教育活動を行っている。	人	35	49	8	1	6	90.3	A
		%	35.4	49.5	8.1	1.0	6.1				
		児童	地域(ちいき)を知(し)る学習(がくしゅう)や地域(ちいき)の人(ひと)と一緒(いっしょ)に行(い)く学習(がくしゅう)は楽(たの)しい。	人	140	26	5	2	5	96.0	A
		%	78.7	14.6	2.8	1.1	3				
教職員	学校は、家庭や地域と連携して体験学習などの教育活動を行っている。	人	6	8	0	0	0	100.0	A		
%	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0						
分析・改善	<p>保護者、児童、教職員の全てにおいて達成率が90%を超えている。新型コロナウイルス感染症の分類がら類に引き下げられ、各教科の授業や学校行事等において、コロナ禍前のような体験活動が復活してきているためだと考えられる。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>① 学習したことを生かし、事後指導(発表会・レポート等)にも力を入れる。</p> <p>② 授業の様子をホームページや各種通信等で積極的に情報発信する。</p>										
家庭・地域連携	11	保護者	学校は、教育活動の様子をホームページ等を通して家庭や地域に積極的に配信している。	人	55	39	3	1	1	95.9	A
		%	55.6	39.4	3.0	1.0	1.0				
		児童	わたしは、おたよりなどをきちんと家(いえ)の人(ひと)にわたしている。	人	131	37	3	5	3	95.5	A
		%	73.2	20.7	1.7	2.8	2				
教職員	学校は、教育活動の様子を家庭や地域に積極的に配信している。	人	8	5	1	0	0	92.9	A		
%	57.1	35.7	7.1	0.0	0.0						
分析・改善	<p>保護者、児童、教職員の全てにおいて達成率が90%を超えている。今後も積極的なホームページの更新と継続的な学校だより、学級通信等の発行を行っていく必要があると考える。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>① 学習の様子について、どのような方法で授業改善を行っているか学級通信等で発信する。</p> <p>② ホームページに月行事の更新や提出文書の配布などを知らせるコーナーを作成するなど、有効な情報発信を行う。</p>										